

令和3年度

鹿児島県立図書館運営に関する点検及び評価結果

当館が策定している基本的運営方針を踏まえ、令和3年度に重点的に取り組んだ事項と関連する指標についての評価を実施し、その結果に基づき運営の改善を図ります。

【鹿児島県立図書館の目指す姿】

人づくりに貢献し、成長し続ける図書館 ～支える・役立つ・つなぐ・育む～

【基本目標、重点取組事項】

<基本目標1>

鹿児島県立図書館は、県立奄美図書館との連携を図りながら、県内の公共図書館（室）が多様なサービスを提供できるよう、ネットワークの構築や研究・研修の充実等に努めることにより、「支える」図書館を目指します。

<重点取組事項>

- 1 市町村図書館支援の充実
- 2 ネットワークの構築
- 3 図書館運営研究の拠点
- 4 図書館協議会等の充実

<基本目標2>

鹿児島県立図書館は、県の情報拠点として、県民や地域の課題解決支援が図れるよう、多様化・高度化する県民のニーズに応える資料の収集・保存や情報提供等に努めることにより、「役立つ」図書館を目指します。

<重点取組事項>

- 1 利用者に対応したサービスの充実
- 2 課題解決支援・学習支援の充実
- 3 郷土資料（地域資料）の網羅的な収集とデジタル化
- 4 図書館資料の計画的な整備

<基本目標3>

鹿児島県立図書館は、県民が新たな知を創出できるよう、居心地の良い空間やコミュニケーション空間の充実を図りながら、知識や知恵、情報の交流の場づくりに努めることにより、人と人、人と情報を「つなぐ」図書館を目指します。

<重点取組事項>

- 1 場と人とをつなぐ環境づくり
- 2 人と人とをつなぐ環境づくり
- 3 情報と人とをつなぐ環境づくり

<基本目標4>

鹿児島県立図書館は、県民の読書活動を積極的に推進するとともに、郷土の人や歴史等への理解を深める場の提供に努めることにより、県民が生涯にわたって読書に親しみ、郷土に学ぶ心を「育む」図書館を目指します。

<重点取組事項>

- 1 子供読書活動の推進
- 2 大人読書活動の推進
- 3 郷土の人・文化の理解と継承

【評価基準】

評価	内 容
A	非常に良好：計画どおりに実施でき、大きな成果がみられた。
B	良好：計画どおりに実施できた。
C	やや不十分：概ね計画どおりに実施できたが、一部が実施できなかった。
D	不十分：計画どおりに実施できなかった。

基本目標 1 『支える』

鹿児島県立図書館は、県立奄美図書館との連携を図りながら、県内の公共図書館（室）が多様なサービスを提供できるよう、ネットワークの構築や研究・研修の充実等に努めることにより、「支える」図書館を目指します。

1 令和3年度の取組について

	重点施策	取組状況		評価
		計 画	実 績	
1	市町村図書館支援の充実	<ul style="list-style-type: none"> 情報の共有化を行うとともに連携を密にし、利用者サービスの向上を図る。 貸出文庫により、市町村立図書館をとおして県民への図書の貸出を行う。 図書館ポータルサイトを活用し、相互貸借の充実を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 県内の市町村図書館（室）に関する情報の積極的な収集・広報に努め、各館の交流を推進した。 直接来館できない県民へのサービス充実を目指し、前年並みの利用実績を維持できた。 新システムにおけるポータルサイトの円滑な運用を目指して、市町村図書館と連携を図っている。 	B
2	ネットワークの構築	<ul style="list-style-type: none"> 市町村立図書館（室）における利用者サービスの向上を促進する。 図書館情報システムの適切な運用管理を行うとともに、セキュリティ対策の強化を行う。また、図書館情報システムを活用したサービスの利用促進を図るため、横断検索システムへの参加・利用促進を図るとともに、ホームページの情報更新に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症拡大防止期間の10冊貸出により、居住地返却の冊数が増加したと考えられる。 横断検索システムの参加自治体数は目標値の33市町村に対し、2市2町増えて35市町村であった。声かけにより参加意向を示す自治体もあったため、今後も参加館の設備整備・経費面の準備を注視しながら参加を働きかけていく。 	A
3	図書館運営研究の拠点	<ul style="list-style-type: none"> 図書館大会や各種講座等をとおして、図書館職員の資質向上を図る。 県内各地で行われる研修会への講師派遣や来館研修、図書館司書実習を受け入れるなど、市町村や各種団体等の支援を行う。 県民の読書活動を推進する研修会やイベントを開催し、市町村図書館での事業のモデルを示す。 	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、図書館大会は中止としたが、各種講座は募集定員を減らして実施することができた。 研修会へ講師を派遣したり、図書館実習を受け入れたりすることで、図書館関係職員の資質向上に努めた。 研修会、イベントの運営に市町村図書館職員が関わることで、自館の運営に生かしている。 	C
4	図書館協議会等の充実	<ul style="list-style-type: none"> 図書館協議会委員や図書館協会理事からの意見・要望を参考にし、図書館運営や利用者サービスの改善・向上に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> 図書館協議会は2回開催し、図書館協会の理事会は3回行った。一方、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、図書館協会の総会及び業務担当者会はオンライン会議等により開催した。 	B

2 各種指標の達成状況

(1) 主要指標

	主要指標	目標値	実績値	達成割合
1	「県民一人当たりの貸出冊数」	3.42冊	2.96冊	86.5%
2	「市町村満足度」	84.0%	86.3%	102.7%

(2) 参考指標

	参考指標	目標値	実績値	達成割合
1	「図書館等への貸出冊数」	36,000冊	35,482冊	98.6%
2	「居住地返却の冊数」	4,600冊	4,435冊	96.4%
3	「横断検索への接続市町村数」	33市町村	35市町村	106.1%
4	「講座等への参加者数」	720人	45人	6.3%
5	「県立図書館を語る会の参加者数」	170人	153人	90.0%

3 評価と今後の取組について

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、研修会の中止や参加者数の制限を行ったことで、図書館職員に対する研修や講座が実施できなかった。また、図書館等への貸出や居住地返却については借り控えや地方図書館休館による影響等があったもののほぼ目標値を達成できた。県立図書館を語る会への参加者は、オンライン会議等により実施し、目標値の9割は達成できた。横断検索への接続市町村数は、目標値を達成できた。

今後は、新型コロナウイルス感染症の感染状況を注視しながら、研修や訪問により図書館職員の資質向上に努めるとともに、横断検索システムの参加・利用促進を図り、また、更なる図書の貸出をすることで、市町村立図書館（室）への支援の充実を図りたい。

基本目標 2 『役立つ』

鹿児島県立図書館は、県の情報拠点として、県民や地域の課題解決支援が図れるよう、多様化・高度化する県民のニーズに応える資料の収集・保存や情報提供等に努めることにより、「役立つ」図書館を目指します。

1 令和3年度の取組について

	重点施策	取組状況		評価
		計画	実績	
1	利用者に対応したサービスの充実	・閲覧・貸出など利用しやすい環境整備とともに、様々な利用者サービスの向上に努める。	・閲覧・貸出冊数は目標値を達成し、利用者満足度の達成割合も92%であった。 ・アンケートではトイレの充実を要望する意見が多かったが、和式から洋式トイレに一部改修した。	B
2	課題解決支援・学習支援の充実	・郷土に関する事項の件名やレファレンス事例の電算入力、パスファインダーの作成等、レファレンスツールの充実に努める。 ・課題解決支援コーナーの充実に努める。	・新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴うまん延防止期間の影響で、レファレンス件数が減少したため、それに伴いレファレンス事例の電算入力も減少した。パスファインダーについては3月に改訂を行った。 ・図書館システム更新に伴う休館後の12月開館に合わせ課題解決支援コーナー4分野の資料収集、配架の工夫を行い、充実に努めた。	B
3	郷土資料（地域資料）の網羅的な収集とデジタル化	・郷土の文化遺産として永く後世に伝えていくために網羅的で積極的な郷土資料の収集を行い、そのために各関係機関との連携を図り協力を依頼する。 ・郷土資料の保存と活用のため郷土新聞や貴重資料等のデジタル化を進める。	・各機関と連携し、県行政資料や市町村発行資料など図書以外の収集も積極的に努め、郷土新聞、貴重資料のデジタル化も計画的に行った。 ・令和3年度の貴重資料デジタル化進捗率は、目標値53.7%を下回る45.3%であった。1冊あたりのページ数が多い資料を中心に撮影したため、撮影枚数は多いが撮影資料数は少ない結果となった。	C
4	図書館資料の計画的な整備	・利用者の生涯学習に役立つ資料を幅広く収集するとともに、海音寺潮五郎文庫や雑誌スポンサーコーナー、障害者サービス資料の充実に努めながら、県民の調査相談に資する図書館、保存図書館としての資料の整備に努める。	・購入、寄贈などによる約2万冊の図書資料の計画的な受入を行い、蔵書冊数の令和3年度目標値の99.8%である911,586冊であった。 また、障害者サービスのためのデイジー図書や雑誌スポンサー制度による雑誌など、幅広い資料の収集を行った。	B

2 各種指標の達成状況

(1) 主要指標

	主要指標	目標値	実績値	達成割合
1	「貸出＋書庫閲覧冊数」	379,000冊	390,067冊	102.9%
2	「利用者満足度」	50.0%	46.3%	92.6%

(2) 参考指標

	参考指標	目標値	実績値	達成割合
1	「利用者満足度」(ユニバーサルサイン)	75.2%	63.2%	84.0%
2	「レファレンス検索データ入力件数」	150件	91件	60.7%
3	「デジタル化進捗率」	53.7%	45.3%	84.4%
4	「蔵書冊数」	913,000冊	911,586冊	99.8%

3 評価と今後の取組について

図書館情報システムの更新に伴うWi-Fi導入やトイレ改修など利便性を図ることができた。また、貸出＋書庫閲覧冊数は目標値を達成した一方で、新型コロナウイルス感染拡大防止に伴い講演会やレファレンス業務が実施できなかったことから昨年より実績値が低くなった指標がみられた。今後、外部機関と連携した「県立図書館ビジネス支援プロジェクト」を始動したり、図書資料の充実に努めたりすることで、利用者の課題解決を支援していきたい。

基本目標 3 『つなぐ』

鹿児島県立図書館は、県民が新たな知を創出できるよう、居心地の良い空間やコミュニケーション空間の充実を図りながら、知識や知恵、情報の交流の場づくりに努めることにより、人と人、人と情報を「つなぐ」図書館を目指します。

1 令和3年度の取組について

	重点施策	取組状況		評価
		計画	実績	
1	場と人をつなぐ環境づくり	<ul style="list-style-type: none"> 施設等の安全管理及び保全改修に努める。 広報誌やホームページの内容の充実を図り、積極的な情報発信に努めるとともに、県の広報誌等を活用した広報活動を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 空調設備のメンテナンスや防犯カメラの更新等を行い安全で快適な環境の維持に努めた。 公式Facebookやホームページの内容の充実を図った。また、広報誌等を利用した広報活動・情報発信に努めた。 	B
2	人と人をつなぐ環境づくり	<ul style="list-style-type: none"> 利用者が多様な他者と交流し、図書館や図書資料を活用してコミュニケーションを楽しむことができるよう、交流イベントを開催する。 一般県民に館内4か所の会議室を有償（減免規定あり）で貸出を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 12/11, 12の2日間、「県図書ほっとフェス」を開催した。当館職員や外部講師によるイベントを開催し、参加者同士の交流が推進された。 コロナ禍ではあるものの、会議室の利用について広く周知を行ったところ、前年度に比べ増加した。 	A
3	情報と人をつなぐ環境づくり	<ul style="list-style-type: none"> 図書館を生涯学習の活動や成果を発表する場として活用するため、ボランティア活動を支援する。 HPやSNSを活用した情報提供や情報交流を推進する。 	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症拡大予防のため、ボランティア活動を制限した期間もあり、参加者は目標値よりも大きく下回った。 フォロワー数は目標値に届かなかったが、公式Facebookへ最新情報を掲載することに努めた。 	C

2 各種指標の達成状況

(1) 主要指標

	主要指標	目標値	実績値	達成割合
1	「入館者数」	474,000人	321,546人	67.8%
2	「利用者満足度」	57.8%	63.5%	109.9%

(2) 参考指標

	参考指標	目標値	実績値	達成割合
1	「利用者満足度」(居心地の良い空間・居場所づくり)	79.2%	84.9%	107.2%
2	「交流イベント参加者数」	65人	244人	375.4%
3	「ボランティア活動者数」	800人	353人	44.1%
4	「HPのリンク数」	7件	5件	71.4%
5	「SNSフォロワー数」	800件	574件	71.8%

3 評価と今後の取組について

新型コロナウイルス感染症拡大防止による休館等の影響で、入館者数やボランティア活動者数が目標値を下回った。交流イベントについては、幅広い年齢層の県民を対象とした「県図書ほっとフェス」を開催し、多くの参加を得ることができた。SNSフォロワー数については、継続的・計画的に魅力ある情報を提供することにより実績値の向上を図りたい。今後も、より良い環境づくりを図るとともに、新型コロナウイルス感染症の感染状況を注視しながら魅力ある交流イベントの実施を実施し、タイムリーな情報発信に努め、「つなぐ」図書館を目指していきたい。

基本目標 4 『育む』

鹿児島県立図書館は、県民の読書活動を積極的に推進するとともに、郷土の人や歴史等への理解を深める場の提供に努めることにより、県民が生涯にわたって読書に親しみ、郷土に学ぶ心を「育む」図書館を目指します。

1 令和3年度の取組について

	重点施策	取組状況		評価
		計画	実績	
1	子供読書活動の推進	・親子読書研修会、読書活動推進スキルアップ研修会を開催し、子供読書活動の推進を図る。併せて、各地の研修会への講師派遣や総合講座、学校図書館講座、県図書館大会の中で、子供読書推進についての周知を図る。	・読書活動推進スキルアップ研修会、図書館大会は中止としたが、各種講座や幼稚園新規採用教諭研修会等での講話の中で、子供読書活動の意義や重要性について周知するとともに、読書活動のスキルアップを図ることができた。	C
2	大人読書活動の推進	・読書に楽しむ大人の姿の影響力を重視し、読書活動推進スキルアップ研修会のワークショップや交流イベントに大人向けの読書活動を取り入れる。	・研修会は中止としたが、交流イベントにおいて読み聞かせ講座やビブリオバトル、物語の主題歌等を演奏するロビーコンサートにより、大人が読書活動を楽しむ姿が見られた。	C
3	郷土の人・文化の理解と継承	・貴重資料紹介展や講演会を行い、県民の生涯学習の一助とするとともに、図書館利用の促進につなげる。また、広報誌・ホームページの活用や、報道機関への情報提供を行う。	・貴重資料紹介展の参加者数は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、目標値1,300人に対し実績値791人と大きく下回った。今後も県民の郷土への興味や理解を促すような展示や講演会・広報活動を継続していく。	C

2 各種指標の達成状況

(1) 主要指標

	主要指標	目標値	実績値	達成割合
1	「研修会等の参加者数」	1,050人	257人	24.5%
2	「受講者満足度」	90.0%	97.8%	108.7%

(2) 参考指標

	参考指標	目標値	実績値	達成割合
1	「講座等の定員に対する参加者数の割合」	85.0%	60.0%	70.6%
2	「大人向けイベントの参加者数」	70人	96人	137.1%
3	「資料展等の参加者数」	1,300人	791人	60.8%

3 評価と今後の取組について

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、図書館大会、読書活動推進スキルアップ研修会を中止したことで、子供読書活動推進の機会は減少したが、大人読書活動の推進については、交流イベントで大人向けの読書活動を実施したことにより、参加者の関心を高めることができた。

また、感染症の影響で貴重資料紹介展の参加者は少なかったが、特別講演会や海音寺潮五郎記念文化講演会の受講者満足度が非常に高かった。今後も、感染症の状況を考慮しながら、研修会等を実施し、読書活動の推進を図っていきたい。